

インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) リッシュウダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) タカハン
立正大学	経営学部	高橋ゼミ

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ラトウール リッシュウ	フリガナ) コジマ アオ	5	無	
La-tour Rissho	小島 碧雄			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)

国内製菓業界の海外進出

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

私たちの研究の目的は日本の製菓企業を東南アジアに進出させて長期的な売り上げを獲得させることです。

日本の商品がそのまま海外で通用するとは限らないので、その国独自の文化やライフスタイルに合わせた商品を企画することを、私たちは提案します。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

現在日本では国内での急速な少子高齢化により、製菓業界のメインターゲットである若年層が減少しており、国内の業界規模の拡大が困難な状態になっています。そこで製菓企業は世界各国に進出し長期的な売り上げの安定、拡大を図っています。そしてこれから大きな経済発展が見込まれる東南アジアにも多く進出しています。食に対する嗜好は風土や食習慣、宗教に影響されると言われており、特に様々な文化や宗教が入り乱れた東南アジアでは日本とは全く違った戦略で成功した食品企業が多くあります。以上のことから製菓業界は東南アジアで長期的に売り上げを伸ばすために日本での戦略とは違った東南アジアに向けた効果的な方法を取るべきだと考えました。

3. 研究テーマの課題

製菓業界は海外へ進出しているが同様に撤退もしていることが課題だと考えました。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちは製菓企業が海外で事業を拡大するためにはそれぞれの宗教やライフスタイルに合わせた商品の開発、商品の売り出し方をするべきだと考えました。現地には見合わない価格設定、現地企業との連携不足で海外から撤退した企業の前例があり、味の素では現地の宗教の重要性を考えず商品売り出したことで事件と発展した例もあります。これは現地に商品・企業が合っていないと言えます。そのため、日本の商品を「そのまま」海外諸国へ持ち込み、それを好んでもらおうとするのではなく、商品を現地の味・食文化・宗教・ライフスタイルに企業側から合わせていくことで企業は海外での売り上げを拡大し、事業をさらに拡大できると私たちは提案します

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

5月からカルビーの海外展開に目を付け、そこから製菓業界へと視野を広げていきました。具体的にはインターネットを用いて調査をし、残念ながら企業へのインタビューには至らなかったため、参考図書から引用し、研究を進めていきました。

6. 結果や今後の取り組み

結果は、私どもの力では出すことができませんでした。今後はこの研究を後輩に引き継ぎ、ぜひ結果を出してしてほしいと思います。

7. 参考文献

総務省 http://www.soumu.go.jp/main_content/000273900.pdf 最終アクセス 9/18

三井住友銀行

https://www.smbc.co.jp/hojin/report/investigationlecture/resources/pdf/3_00_CRSDReport079.pdf 最終アクセス 9/18

Calbee <https://www.calbee.co.jp/> 最終アクセス 9/18

明治の食育 <https://www.meiji.co.jp/meiji-shokuiku/worldculture/> 最終アクセス 9/18

「食品企業のグローバル戦略 成長するアジアを拓く」 新井ゆたか(著) 2010/10/15 最終アクセス 9/23

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様(株式会社日経BPマーケティング)に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ **ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください**